

フェーズ 1 方向性の明確化と計画・体制づくり【調査・準備】

実態調査

教職員／生徒
保護者／指導団体等

地域展開会議設置

- ・方向性の検討
- ・地域関係者との連携
- ・庁内関係部署との連携

フェーズ 2 実証

01 学校部活動の「質」と「量」の適正化【佐賀モデル】

実証校選定

学校／部活動

ワークショップ

生徒／教職員
(保護者)

トップアスリートによる 指導・支援

先行モデル校対象

評価 改善

R7～ 全校試行

- ・現行の部活動
ガイドラインの改訂
- ・地域クラブの要件
整理

02 地域型クラブの立ち上げ・運営支援

実証校選定

- ・学校
- ・部活動
- ・新規種目 等

受け入れ団体 指導者

- ・体制整備
- ・要件/確保/研修

運営にかかる調整

- ・活動場所
- ・日程調整
- ・運営管理ツール等

保護者説明会

- ・参加申込
- ・保険加入

評価 改善

R7～ 継続実証 新規実証

フェーズ 3 その他の課題整理

運営体制・指導者整備

- ・クラブ運営組織の検討
- ・既存の協会・団体との連携
- ・地域クラブの要件整理
- ・教職員の兼職兼業制度の整備
- ・指導者要件の設定／研修

財源の確保

- ・学校部活動予算の付替検討
- ・受益者負担の理解促進
- ・企業協賛、ふるさと納税等の検討

施設管理

- ・学校施設・用具の活用ルール検討
- ・活動の時間帯整備
- ・鍵の管理、セキュリティー

理解促進のための広報

- ・学校や保護者、関係者向けの説明
- ・ホームページでの広報
- ・ちらし、お便り等の広報活動
- ・SNS、メディアを通じた発信 等

(3) 今後の進め方 — 部活動の地域展開に向けたステップ —

方向性 **1 佐賀モデル** (佐賀市部活動適正化モデル)

令和7年度 全校試行に向けて

01 活動時間の調整

✓ 週 8 時間程度・週2日休養の原則を維持しつつ、

大会前やコンクール前の弾力運用の検討・・・**時間管理**

✓ **校時限**の工夫

→ 日没が早い**冬場でも活動時間確保**に。

→ **5 時間授業の日**に部活動を行なえば、**勤務時間内で部活動が可能**に。

→ 地域クラブの要件・定義が示され、今後設立が進めば
「もっと練習したい」生徒のニーズへの対応可能に。

【見直しの視点】

①生徒の放課後活動のゆとりを確保する

(部活・社会体育・習い事など)

②教職員が、生徒とより丁寧に関わり、寄り添える時間を増やす

平常校時

朝の会	8:10	8:20
掃除	8:20	8:30
1 校時	8:40	9:30
2 校時	9:40	10:30
3 校時	10:40	11:30
4 校時	11:40	12:30
昼食・昼休み	12:30	13:20
5 校時	13:25	14:15
6 校時	14:25	15:15
帰りの会	15:20	15:30

短縮校時

朝の会	8:10	8:20
掃除	8:20	8:30
1 校時	8:40	9:25
2 校時	9:35	10:20
3 校時	10:30	11:15
4 校時	11:25	12:10
昼食・昼休み	12:10	13:00
5 校時	13:05	13:50
6 校時	14:00	14:45
帰りの会	14:50	15:00

【参考】市内A中学校の見直し例

(3) 今後の進め方 — 部活動の地域展開に向けたステップ° —

方向性 **1 佐賀モデル** (佐賀市部活動適正化モデル)

令和7年度 全校試行に向けて

02 活動の質向上

✓ 学校間合同練習や拠点校部活動の推奨

→「他校との交流」、「専門性の高い指導」を求める生徒の声に対応

→教職員の負担軽減に

✓ 今年度の成果を各校に展開 ……保護者・教職員・生徒への啓発

→練習計画を立てる手順、視点等

→佐賀モデルについての説明資料を提供

→ファシリテート型の指導法についての事例提供

→練習メニューの選択肢等の情報提供

目標設定・練習計画作成 (例)



コーチングのポイント動画
(日本スポーツ協会)



【グッドコーチとして適切に対応するための動画】(日本スポーツ協会)



セルフチェック動画
(スポーツ庁)



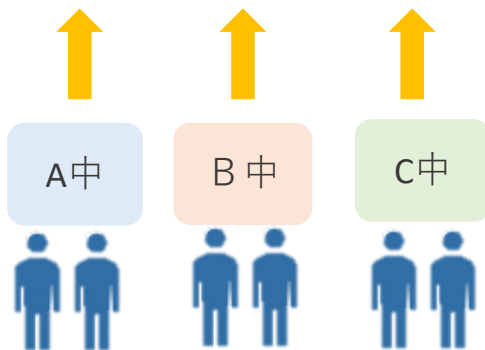
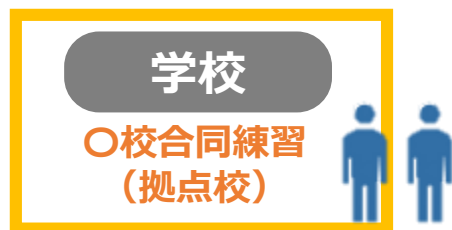
ウォーミングアップ動画
(スポーツ庁)

(3) 今後の進め方 — 部活動の地域展開に向けたステップ —

方向性 2 地域クラブ活動型モデル

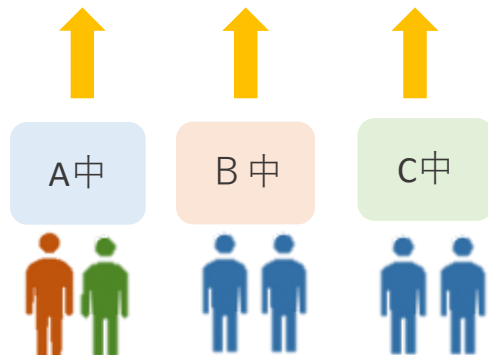
地域クラブ活動への移行プロセス（R5～R6モデル事業）

拠点校・合同部活



- ・合同練習は、A中・B中・C中の指導者が交代で指導
- ・指導者の負担軽減と子どもの活動機会、質の担保に

地域クラブ活動



指導者不足の解消

- ・指導希望の教員も地域クラブの指導に
- ・学校部活の外部指導者がそのまま地域指導者に
- ・大学生がアシスタントコーチに

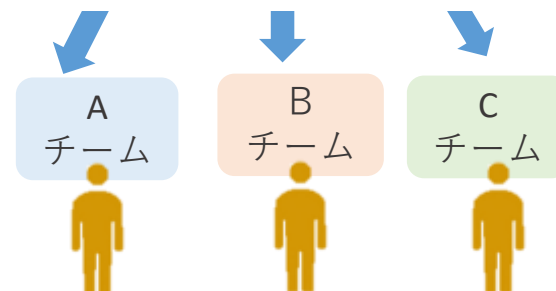
（理想） 地域クラブ活動



多様な運営主体

- 総合型
地域スポーツクラブ
- 民間団体・プロチーム
- 競技団体・少年団

通常は、最低2名の指導体制で
1クラブとして活動



- ・大会時は一定の規定に基づき、複数チーム出場が可能となれば、3チーム出場可能に。
- ・競技レベルや子どもの志向に応じたチーム編成や参加の仕方も多様に

(3) 今後の進め方 — 部活動の地域展開に向けたステップ —

方向性 ② 地域クラブ活動型モデル

学校部活動において、教職員が担っている業務と役割

担当		業務	
学 校	管理職	管理	勤怠管理
	顧問		安全管理、ケガ対応、いじめ・トラブル対応、練習計画作成・管理
	顧問	庶務	名簿作成、スケジュール・場所調整、消耗品・備品購入、 物品購入続き（説明・承諾書・申込書作成・発注）
		大会等	大会引率、大会運営、審判、抽選会（顧問会議）、 練習試合（交渉）、実施要項等作成
		練習等	生徒指導、仲間づくり、ニーズへの対応・個別対応、 練習メニュー作成、保護者・生徒連絡
		部活動指導	技術指導

地域人材の確保だけでなく、地域クラブの運営業務、費用負担の在り方の整理など多くの課題



子どもたちのスポーツ活動の場を確保し、多様なスポーツ活動の機会の提供につながるよう、課題を解決するための組織づくりに取り組む

方向性 2 地域クラブ活動型モデル

01 民間のクラブチーム等との区別や質の担保

- ✓ 地域クラブ活動の定義・要件や認定主体、認定方法等を国として示す方向。（R7春）
（これを受けて）
 - 市として定義・要件、認定主体・認定方法の整理（庁内他課と連携）
 - 公的支援の範囲の検討
（例）学校施設・用具の借用、広報、佐賀市各種大会出場補助金等

02 多様な財源確保策の研究

- ✓ 企業協賛、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用等の研究（庁内他課と連携）

03 指導者の「質」と「量」の担保

- 人材のネットワーク化で負担を分散・・・R6佐賀モデル指導者派遣の成果より
（競技指導者・トレーナー・ファシリテーター・サポーター・ブースター）
- 指導者人材バンク/指導者研修の活用（佐賀県教委との連携）